

労働安全に関するガバナンス

荏原グループ 安全衛生方針

荏原グループは、[荏原グループの CSR 方針](#)に定める「安心・安全な、働きやすい職場をつくれます」に基づき、当社の従業員をはじめ協力業者等も含む荏原グループで働く人すべてに対し、ワークライフ・バランスの実現や心の健康づくりを含む安全衛生が何事にも優先する職場環境を構築・維持するため、次のとおり安全衛生方針を定めます。

1. 安全衛生の優先

役員、従業員をはじめとする荏原グループで働く人すべてが、安全衛生がすべてに優先することを認識し、労働災害の撲滅を図ります。

2. 安全衛生マネジメントシステムの整備・実行

安全衛生管理体制を整備し、リスクアセスメント等に基づく効果的なマネジメントを継続的に実施、改善します。

3. 安全衛生意識の向上

事故・災害防止活動の徹底や、KYT（危険予知訓練）等の安全衛生教育の充実を行い、安全衛生意識の向上を図ります。

4. 法令の遵守

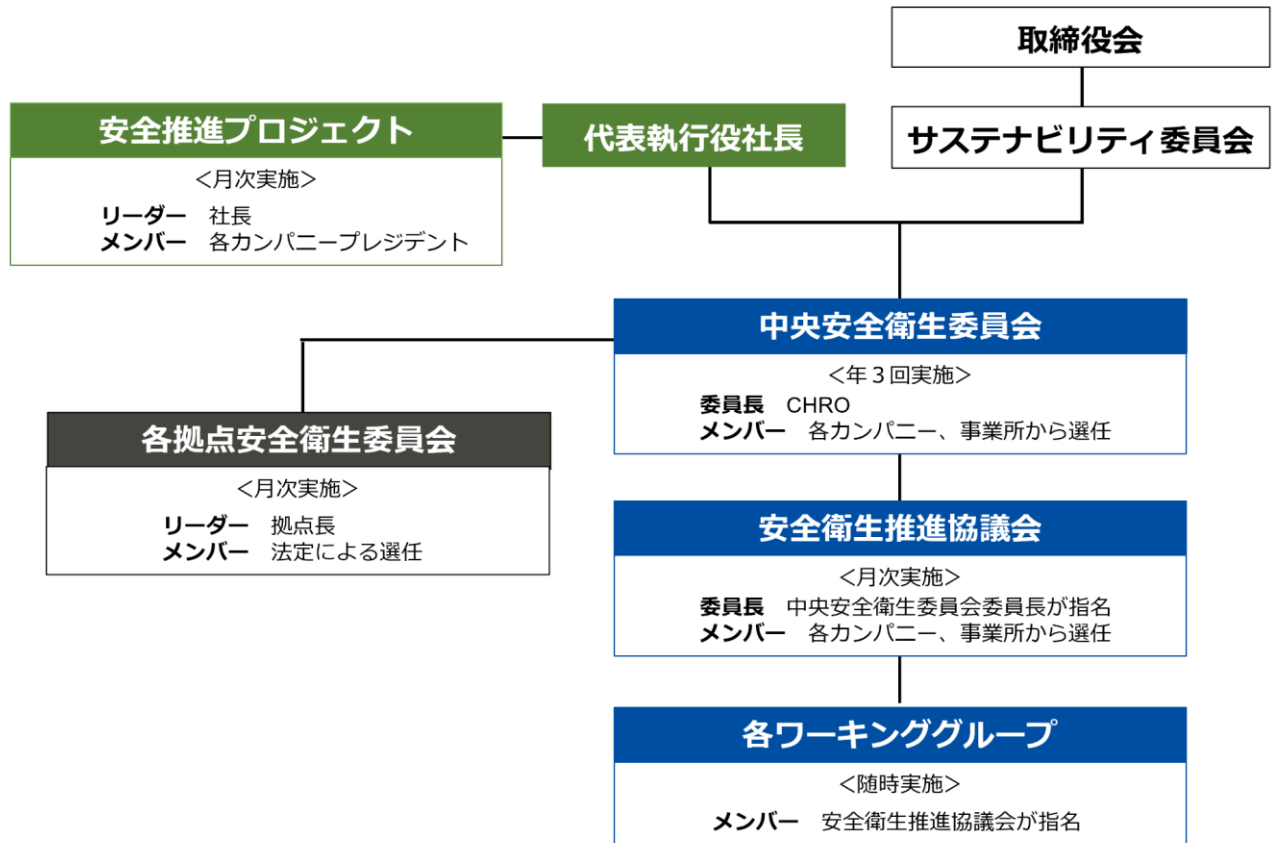
労働安全衛生法等の安全衛生関係法令及び社内の安全衛生関連規定を遵守します。

2025 年 3 月 27 日

株式会社 荏原製作所 代表執行役社長 細田 修吾

安全衛生体制

法令に定められている「安全衛生委員会」または「従業員の意見を聴取する会」を全ての拠点で実施し、労使で協議をして有効な施策を展開していることはもちろん、荏原グループ全体、各カンパニーの組織間を超えた横断的な安全衛生活動を推進するために、「安全衛生推進協議会」を毎月実施しています。



安全衛生体制図

組織／会議体	概要
安全衛生推進協議会	● 各組織から選出されたメンバーにより構成。 ● この協議会で確認された課題は、協議会下に組織された「ワーキンググループ」にて具体的検討を行っています。
中央安全衛生委員会	● 安全衛生推進協議会で協議された事項は、中央安全衛生委員会で審議されて荏原グループ全体の方針や全社安全衛生計画に反映されています。 ● 各カンパニー、各グループ会社、各拠点の安全衛生計画は、全社安全衛生計画に基づき作成され PDCA サイクルで運用されています。

	● 審議事項は社長、サステナビリティ委員会に報告され、労働災害の撲滅と健康経営推進に向けて全社での継続的な改善に取り組んでいます。
安全推進プロジェクト	● 社長と各カンパニープレジデントによる「安全推進プロジェクト」を毎月実施。 ● 請負会社含めた荏原グループ全社で発生した労働災害の報告と対策の進捗状況について確認し、再発・類似災害未然防止の迅速対応を図っています。

また、これらの労働安全に関する全ての会議体を繋ぎ、情報共有と再発防止の水平展開をグローバルに推進するために、人事部門内に専門組織を設置しています。

荏原グループでは中央安全衛生委員会を中心とした、安全衛生計画の PDCA サイクルを運用するマネジメントを実施していますが、外部認証による労働安全衛生マネジメントシステムとして、「荏原環境プラント 武蔵野緑管理事務所」では、ISO45001 の認証を受けています。

労働安全に関するリスク管理

労働安全衛生における危険源の特定およびリスク評価の状況

荏原環境プラントは、従業員一人ひとりの心身の健康と安全が、企業の持続的な成長と社会への貢献を支える最大の基盤であると考えています。

当社は「健康経営優良企業」として、すべての従業員が安心していきいきと働ける職場環境の実現に向け、経営トップ主導で積極的な取り組みを進めております。特に当社の事業の最前線においては、労働災害や環境事故の未然防止は経営の最重要課題です。

【強固なリスク管理体制】

「リスクアセスメント」「KYK（危険予知）活動」「環境・安全・衛生パトロール」を多角的に連携させた強固なリスク管理体制を構築・運用しております。

全事業所および各種現場において、継続的な安全管理レベルの向上と安全文化の定着を図ることで、従業員の命と健康を守ります。

主な取り組み

1. 徹底した現場の危険リスク回避と実効性のある運用

日々の業務においては、定期的な現場パトロールによる法令順守・安全状況の確認に加え、作業前の KY 活動やヒヤリハット情報の共有を徹底し、現場に潜む潜在的な危険要因を早期かつ網羅的に特定・抽出しています。

さらに、これらを以下の日常業務プロセスへ明確に組み込み、現場での実効性ある運用を行っています。

作業計画書への組み込みと事前共有

作業手順書の見直しと厳格な遵守

安全日誌等への記録・現場間での情報共有

2. 多角的なリスク低減と安全文化の醸成

抽出した危険源に対しては、リスクアセスメントによる評価を実施し、優先度に応じた対策を多角的に推進しています。

設備改善：優先度に応じた本質的な安全対策・設備修繕の導入

手順の見直し：安全性を最優先した作業プロセスの再構築

教育・訓練：全社および現場単位での継続的な安全衛生教育の実施

また、対策実施後の有効性を定期的に検証し、残留するリスクについての継続管理を行うことで、安全衛生レベルの PDCA サイクルを回し、組織的な安全文化の醸成を推進しています。

今後に向けて

これからも荏原環境プラントは、徹底した安全衛生管理を土台とした「健康経営」を推進し、従業員とその家族の幸福を追求するとともに、社会から信頼され続ける企業を目指してまいります。

労働災害の発生状況労働安全指標のモニタリング

荏原グループでは、労働災害指標を LTIR(Lost Time Incident Rate)と TRIR(Total Recordable Incident Rate)でモニタリングし、削減目標を策定して安全衛生計画を実践しています。

労働安全 衛生指標	対象組織	2022	2023	2024	2025
LTIR	荏原環境プラント	1.71	1.84	1.15	2.26
TRIR	荏原環境プラント	公表値なし	6.92	3.32	5.13

荏原グループの結果については、以下よりご参照いただけます。

[ESG データ集](#)